

**平成 30 年度予算主要事業の概要**  
**(事業別説明資料)**

**企画部**



## 目 次

「ひだ宇宙科学館 カミオカラボ」の整備	1
東京大学宇宙線研究所との連携	2
飛騨流葉ドローンプロジェクトの推進	3
「清流みやがわ鮎」の知名度向上	4
「棚田と板倉の里」の活性化	5
飛騨まんが王国声優講座 20 周年記念交流事業	6
河合地歌舞伎の伝承支援	7
飛騨えごまの里推進プロジェクト	8
飛騨市薬草ビレッジ構想推進プロジェクト	9
台湾・新港郷との友好交流の推進	10
飛騨市ファンクラブの交流推進	11
ひだプラすの運営支援	12
小さなまちづくり応援事業	13
飛騨みんなの博覧会の開催	14
地域おこし協力隊事業	15
魅力ある地元高校づくりの推進	16
大人の社会科見学ツアーの開催	17
ふるさと子ども大使	18
地域間交流バスの運行	19
ふるさと納税の推進	20
移住定住コンシェルジュの設置	21
空き家の家財道具処分費等への支援	22
移住 P R ドラマの制作	23
女性の活躍推進事業	24
「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット」の開催	25
飛騨市合併 15 周年記念事業	26
「（仮）飛騨市総合政策指針」策定に向けた調査	27
飛騨市総合政策審議会の運営	28

## **拡充 「ひだ宇宙科学館 カミオカラボ」の整備**

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
257,264	合併特例債 126,200 企業版ふるさと納税 85,000 その他 46,064	工事請負費 250,000 委託料 2,975 その他 4,289
(前年度予算 200,753 )		

### 2 事業背景・目的

飛騨市には、世界に誇れる宇宙物理学研究拠点が多数存在していますが、研究内容を一般に紹介する施設が身近にないことから、市民は、「宇宙物理学研究拠点の町」としての誇りを実感できない現状にあります。

このため、道の駅「宙ドーム・神岡」を宇宙物理学の研究内容を広く紹介する施設として整備します。加えて施設を対外的にPRすることにより、宇宙物理学に興味を持つ層を始めとした誘客にもつなげ観光振興を推進します。なお、施設名称は平成29年度において全国公募をおこない「ひだ宇宙科学館 カミオカラボ」と決定しました。

### 3 事業概要

#### ① 【継続】 研究紹介展示施設整備 (250,000千円)

平成31年4月オープンを目指し、デザインビルド方式により、平成29年度～平成30年度までの2カ年度で整備します。

一般の方々にも宇宙物理学研究について理解できる内容の展示をおこない、より広い層の方々に飛騨市神岡町で研究されている内容を理解してもらいます。

財源には、企業版ふるさと納税も活用し、広く寄附を募ります。

#### ② 【新規】 ウェブサイト製作 (2,975千円)

東京大学宇宙線研究所の研究成果や本施設のPRを効果的に行えるよう、ウェブサイトを製作し情報発信していきます。



(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費	(目) 6 企画費	
所 属	企画部地域振興課 Tel.0577-62-8904	予算書	P. 49～50

## **継続** 東京大学宇宙線研究所との連携

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
1,597	諸収入	1,050	手数料	580
	一般財源	547	使用料	500
			その他	517
(前年度予算 3,843 )				

### 2 事業背景・目的

飛騨市内には、国内外から注目を集めている宇宙物理学研究拠点が多数存在しますが、地下に実験施設があることから一般見学は制限されています。一方で、道の駅である宙ドーム・神岡には宇宙物理学研究拠点の町にきた証となる土産物を求める声が後を絶ちません。

また、東京大学宇宙線研究所長 梶田隆章先生のノーベル物理学賞受賞を契機に研究施設見学の希望も多く寄せられており、そうした要望に応えることが求められています。

このため市では、東京大学宇宙線研究所との連携を強化し、宇宙物理学研究に関連した双方に有益な事業展開を推進することにより地域振興を図ります。

### 3 事業概要

#### ① 宇宙物理学研究啓発事業 (1,597千円)

東京大学宇宙線研究所との連携協力協定に基づき、次の事業を実施します。

- ・SK一般公開：国の要請に基づき実施した見学会を継続実施します。
- ・KAGRA見学会：着々と観測準備が進む重力波研究施設の見学会を開催します。
- ・講演会：宇宙物理学及び関連する講師陣による講演会を開催します。
- ・サイエンスカフェ：宇宙物理学を身近に感じてもらう機会を提供します。

#### ② 宇宙物理学研究関連商品開発事業 (ゼロ予算)

東京大学宇宙線研究所 (主にスーパーカミオカンデ) の関連商品を飛騨市内の商工業者が製作できるよう東京大学宇宙線研究所と市内商工団体と連携し推進します。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課		Tel.0577-62-8904	予算書	P.48～50

## 新規 飛騨流葉ドローンプロジェクトの推進

<b>1 事業費 (単位: 千円)</b>	<b>【財源内訳】</b>	<b>【主な使途】</b>
1,500	ふるさと創生基金 1,500	補助金 1,500

(前年度予算 0 )

### 2 事業背景・目的

ドローンによる経済規模は拡大傾向であり、日本及び世界中で注目されている分野のひとつです。飛騨市では、平成29年度に神岡ドローン実行委員会による「神岡ドローン&ロボットフェスin流葉」が開催され、市内外から多くのご参加をいただくなど、ドローンへの関心・期待も高まっています。

一方で、ドローンはどこでも飛ばせるわけではなく、規制が多いことや、操縦にある程度の訓練が必要であるなど、誰でも気軽に体験することが難しい状況です。

このことから、平成30年度には、その活動の中心となっている神岡町流葉地区において、流葉スキー場の夏場の利用を事業の柱とし、誰でも飛ばせる場所の整備と、あわせて体験会を開催し、市内外へ向けたドローン活用事業を推進します。

### 3 事業概要

#### ① 「飛騨流葉ドローンパーク」整備事業 (550千円)

東海エリアでは初となる、スキー場を活用した誰でも自由に飛ばすことができる「飛騨流葉ドローンパーク」を、流葉スキー場に整備します。このため、ドローン離発着場の整備、看板の設置、夏場の除草委託、「楽天AirMAP」による空域管理を行います。

※平成30年6月オープン予定

#### ② ドローン体験会事業 (350千円)

市民にドローンをもっと身近に感じてもらえるよう体験会を実施します。また、広くPRするため、撮影の体験会など市外の方も参加できる体験会を企画します。

#### ③ 流葉ドローンフェス開催事業 (600千円)

流葉ドローンパークを利用した一日ドローンを楽しめるイベントを実施します。日本中のドローンファンに会場いただけるような企画を盛り込み、流葉でしかできないイベントにします。

#### ④ 様々な分野でのドローン活用検証 (ゼロ予算)

手先と頭を使った高齢者の認知症予防として「ゲートドローン」の普及を行うほか、買い物弱者対策としての活用を検証します。また、トンネルや橋梁点検などの危険な作業や、測量等への活用を検証し、人材不足の解消を図ります。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課 Tel0577-62-8904			予算書	P. 50

## 新規 「清流みやがわ鮎」の知名度向上

<b>1 事業費 (単位: 千円)</b>	<b>【財源内訳】</b>	<b>【主な使途】</b>
<b>4,960</b>	県支出金            1,100 ふるさと創生基金    3,800 一般財源                60	工事請負費            2,700 補助金                 940 その他                 1,320
(前年度予算                    0 )		

### 2 事業背景・目的

飛騨市の豊かな広葉樹の森から生み出される清流みやがわで育った鮎は、「釣って良し」「食べて良し」として年々知名度が上がっており、毎年、全国各地から自慢の鮎が出品される「清流めぐり利き鮎会」では、平成24年及び平成26年に準グランプリを獲得しました。

この事業では、グランプリ獲得に向けた支援と、近隣市場への販路拡大、釣り客に優しい環境の整備などを行い、清流みやがわの鮎の知名度を更に向上させ、釣り・食を目的とする誘客につなげ、地域資源である鮎を活用した地域振興を図ります。

### 3 事業概要

#### ① 日本一の鮎づくり事業 (617千円)

「姿、香り、わた、身、総合」の5項目により審査される利き鮎会に最高の品質状態の鮎を出品するため、鮎の品質を確保するための機器整備を支援するとともにグランプリ獲得に向けた研究を行います。

#### ② 清流みやがわ鮎PR事業 (1,254千円)

富山市内のイベント会場において「飛騨の清流みやがわの鮎の塩焼き」を出店し、来場者の方に魅力をPRします。また、引き続き宮川鮎釣り大会への支援を継続して行うほか、みやがわ鮎のロゴを作成し、広くPRを図ります。

#### ③ 鮎釣り客の拠点「川の家」整備事業 (2,232千円)

飛騨まんが王国内の一部を「川の家」と位置付け、鮎釣りの拠点として活用するとともに、まんが王国駐車場内に電源付専用駐車スペース (RVパーク) を整備します。

#### ④ 鮎釣り客に優しいトイレ環境の整備事業 (857千円)

飛騨まんが王国のトイレを24時間気軽に心地よく利用いただけるよう改修します。また、鮎釣り客の増加に対応するため、宮川河川入口に設置する仮設トイレの設置に要する費用の一部を支援します。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	10 地域振興費
所 属	企画部地域振興課 TEL0577-62-8904			予算書	P.52～53



## 新規 飛驒まんが王国声優講座 20周年記念交流事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
845	ふるさと創生基金	800	印刷製本費	77
	一般財源	45	委託料	553
			その他	215
(前年度予算 0 )				

### 2 事業背景・目的

大手声優事務所の賢プロダクションが、若手声優の育成のため、事務所付属養成所「スクールデュオ」の夏期集中合宿声優講座を、毎年、飛驒まんが王国で行っています。2泊3日の合宿では、人形を使った演技表現や、有名声優による座学など、様々なプログラムが行われ、多くの有名声優の輩出を後押ししてきました。

平成30年度には、この声優講座がスタートしてから20周年を迎えることから、サブカルチャーの持つ魅力を市民に広く周知し、あわせて飛驒まんが王国のPRを行う絶好の機会と捉え、記念イベントを開催します。

### 3 事業概要

#### ○ 声優講座20周年記念イベントの開催

飛驒市文化交流センターにおいて、アニメ「サザエさん」のワカメちゃんや「ドラえもん」の静香ちゃんの声で知られる野村道子さんによる講演会や、飛驒まんが王国で行っている合宿の卒業生徒による読み聞かせ等のイベントを開催します。

また、長年、飛驒まんが王国で行われてきた合宿の成果を広く市民にPRするとともに、改めてサブカルチャーの持つ魅力を発信します。



(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	10 地域振興費
所 属	企画部地域振興課		Ta.0577-62-8904	予算書	P. 52～53

## **新規** 河合地歌舞伎の伝承支援

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
914	ふるさと創生基金 一般財源	900 14	補助金	914

(前年度予算 0 )

### 2 事業背景・目的

河合町に伝わる地歌舞伎の歴史は古く、文化6年(1809年)にその記録が残されており、幾多の変遷を得て、平成19年2月に「河合町歌舞伎保存会」が設立され、現在に至っています。

これまでは、地歌舞伎継承者の高齢化による指導者の減少、各種娯楽の普及による若い会員の減少、三味線や浄瑠璃の演者不足が問題となっていました。そのため、平成29年度に「地歌舞伎入門講座」を広く飛騨市民に呼び掛けたところ、新規会員の加入がありました。

現在は、後継者の育成、大道具等の裏方協力者の確保が課題となっており、また地歌舞伎公演には、舞台奥の背景幕、家屋内を再現する屋台や役者が入退場する花道など大掛かりな舞台の設備を要することから、舞台設備の整備も課題となっています。

そこで、飛騨市にとって貴重な文化である地歌舞伎伝承のために、市は保存会が実施する舞台整備について支援を行ないます。

### 3 事業概要

#### ○ 地歌舞伎用舞台等の整備支援

より良い環境で伝承活動が継続できるように、また体験型教室等を開催しやすくするため、保存会が実施する地歌舞伎用の舞台等整備(舞台、花道、照明)について支援をおこないます。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	10 地域振興費
所 属	企画部地域振興課 Tel.0577-62-8904			予算書	P.53

## **拡充** 飛騨えごまの里推進プロジェクト

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】										
1,205	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">ふるさと創生基金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">1,200</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">5</td> </tr> </table>	ふるさと創生基金	1,200	一般財源	5	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">負担金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">800</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">350</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">55</td> </tr> </table>	負担金	800	印刷製本費	350	その他	55
ふるさと創生基金	1,200											
一般財源	5											
負担金	800											
印刷製本費	350											
その他	55											
(前年度予算 400 )												

### 2 事業背景・目的

飛騨えごまの里推進プロジェクトは、飛騨産えごまの消費拡大と市民の健康増進につなげる農商工連携の取り組みです。平成28年度より新品種「飛系アルプス1号」(※)の生産拡大を行ってきましたが、一方で地元企業と連携した商品開発や地域内外での消費拡大が課題となっています。

このため、平成30年度は農商工連携のプラットフォームとなる「(仮称)飛騨えごまの里推進協議会」を立ち上げ、新商品開発や情報発信を強化し地域内外での消費拡大を推進します。また、昨年度に続き「飛騨えごまWEEK」を開催するとともに、新たに親子を対象とした食育事業を行うなど、官民一体となった飛騨えごまの里を展開します。

※平成25年2月に岐阜県、飛騨市、アルプス薬品工業㈱と共同でルテオリン等を多く含む品種を「飛系アルプス1号」として登録したものです。

### 3 事業概要

#### ① 【新規】飛騨えごまの里推進協議会(仮称)の設立(0千円)

農商工連携を強化するためのプラットフォームを立ち上げ、新商品開発や地域内外での消費拡大などへの取り組みを強化します。

#### ② 【新規】飛騨えごまの里PRパンフレットによる情報発信事業(350千円)

飛騨えごまを育んだ飛騨の風土と生産から販売まで、えごまの魅力を発信するパンフレットを制作し、市内店舗、飲食店、観光案内所等に配布し、情報発信を行います。

#### ③ 【新規】飛騨えごまの食育遠足(55千円)

市内の親子向けにえごまの生産から食卓までの食べ物の循環を知ってもらい、正しい食用油の使い方等を学びながら飛騨えごまの食事を楽しむ食育事業を行います。

#### ④ 【継続】地域内消費を促す取り組み「飛騨えごまWEEK」の開催(800千円)

市内飲食店でのえごま料理の提供やワークショップを約1週間開催します。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部総合政策課		Tel.0577-73-6558	予算書	P.48～50

## **拡充** 飛騨市薬草ビレッジ構想推進プロジェクト

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】												
7,531	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">国庫支出金</td> <td style="width: 33%; text-align: right;">1,393</td> <td style="width: 33%;">委託費</td> <td style="width: 33%; text-align: right;">5,600</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td style="text-align: right;">900</td> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">1,000</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">5,238</td> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">931</td> </tr> </table>	国庫支出金	1,393	委託費	5,600	県支出金	900	負担金	1,000	一般財源	5,238	その他	931	
国庫支出金	1,393	委託費	5,600											
県支出金	900	負担金	1,000											
一般財源	5,238	その他	931											
(前年度予算 2,000 )														

### 2 事業背景・目的

薬草ビレッジ構想推進プロジェクトは、市内NPO法人、福祉団体、薬草愛好団体、地元企業等との協働により、身近な薬草を取り入れて、市民の健康づくりを展開するものです。平成29年度には人材育成に力を入れ「飛騨市薬草フェスティバル」や「飛騨みんなの博覧会」では多くの体験プログラムが提供できるようになったところです。

一方、この事業を更に展開するためには、薬草活用のノウハウについて市民や市外の方々が体験して学べる拠点と、市内外に広く発信するWEBサイトの構築が必要です。

このため、平成30年度には市内の空き家を活用した薬草展示・体験施設の整備に向けた検討を行うとともに、薬草WEBサイトを構築し、情報発信の強化を図ります。

### 3 事業概要

#### ① 【新規】薬草展示・体験拠点施設の候補建物選定と基本調査 (2,940千円)

官民との協働により、施設のコンセプトや展示内容、体験メニュー等の検討を行うとともに、拠点施設候補建物となる市街地の空き家等の調査等を行います。

#### ② 【新規】飛騨市公式薬草WEBサイトの制作 (1,800千円)

本市に自生する薬草や、各種団体、イベント内容等を掲載し広く発信するほか、これまでの取り組みや薬草料理レシピをアーカイブ化し掲載します。

#### ③ 【継続】飛騨市薬草フェスティバル他、ワークショップ等の開催 (2,791千円)

薬草フェスティバルでは、多くの市民に薬草への興味を持ってもらうきっかけづくりをテーマとした取り組みを行います。また、様々な団体等と協働したワークショップを開催し、市民への正しい薬草の取り入れ方の啓発を行います。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部総合政策課 Tel.0577-73-6558			予算書	P. 48～50

## **新規** 台湾・新港郷との友好交流の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
4,300	一般財源	4,300	委託料	2,760
			補助金	450
			その他	1,090
(前年度予算 0 )				

### 2 事業背景・目的

台湾・新港郷との交流は20年前よりおこなわれてきましたが、平成29年の友好提携締結により自治体レベルの交流が始まったことを受けて、お互いの文化や伝統等を広く市民に紹介し浸透させることで、住民相互の理解を深め、市民が直接、国際交流の担い手となるような人材の育成を図ることを目的とします。

### 3 事業概要

#### ① 飛騨市台湾新港郷交流展覧会 (3,080千円)

飛騨市との交流窓口である新港文教基金会在平成29年10月に30周年記念行事を開催し、飛騨市の伝統芸能等が現地公演したことを受けて、飛騨市でも市民への周知と相互理解を図るため、交流1周年記念の時期に新港郷を招待し新港郷・飛騨市交流フェスティバルとしてその友好の歴史、伝統芸能の公演や、台湾の食文化等を市民が体験できる屋台村、またそれにあわせて文化紹介展を開催します。

#### ② 飛騨市文化フェア in 新港郷 (770千円)

親日国である台湾の方々が憧れる日本の文化が飛騨市には数多くあるため、それらを現地で講座として紹介し体験してもらうことで、多くの人が飛騨市に対し理解を深め興味関心を持っていただくことを目的としてイベントを開催します。

#### ③ 新港郷学生交流支援補助金 (450千円)

平成29年8月に台湾新港郷においてホームステイを体験した吉城高校の生徒たちは、初めての海外、そして現地の人々との様々な交流と経験を通して大きく成長しました。ホームステイの継続希望は強く、こういった高校生の渡航を支援し、国際的感覚や飛騨市を海外から見る視点を養成し、次世代の交流人材を育成します。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課		Tel.0577-62-8904	予算書	P.48～50

## **拡充** 飛驒市ファンクラブの交流推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
3,508	ふるさと創生基金	3,200	印刷製本費	1,892
	一般財源	308	委託料	700
			その他	916
(前年度予算 2,000 )				

### 2 事業背景・目的

飛驒市ファンクラブは、市の魅力ある情報を会員が多方面に発信し、市と末永く交流の持てる方々からなる会として平成28年度に創設しました。平成29年度には会員数1,800人を突破し、飛驒市の認知度向上及び魅力発信に寄与しています。

平成30年度は更なる市内の魅力の発信及び会員の募集を行い、会員の皆様からのご支援をいただきながら市への交流人口拡大に努めます。また会員等を対象としたファンの集いを首都圏を含め3回開催するほか、飛驒市魅力発信ツアーを開催し、参加者とのつながりを強化していきます。

更に、FacebookやLINE@などSNSを活用した情報発信を強化していきます。

### 3 事業概要

#### ① 【新規】 飛驒市魅力発信ツアーの実施 (700千円)

市外の会員を対象とした市の魅力を実際に感じてもらえる体験ツアーを開催します。

#### ② 【拡充】 ファンの集い開催 (740千円)

東京、大阪及び岐阜の3会場で飛驒市の食材などを実際にPRする機会としてファンの集いを実施する予定です。

#### ③ 【継続】 飛驒市ファンクラブ運営事業 (2,068千円)

ファンクラブ通信の制作（会員に向けた通信の作成及び送付）やSNS（FacebookやLINE@等）を活用した情報発信及びメールマガジンを配信します。



(款)	2 企画費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課	TEL	0577-62-8904	予算書	P. 49～50

## 拡充 ひだプラすの運営支援

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
800	一般財源	800	費用弁償	418
			謝礼	210
			その他	172
(前年度予算 923 )				

### 2 事業背景・目的

ひだプラすは平成29年11月に市内の若手まちづくり関係者らで発足しました。

市内のまちづくり団体を繋ぐことを第一の目的とし、飛騨市小さなまちづくり応援事業の審査会運営、まちづくりを学ぶためのセミナーの開催、各団体との交流、団体を集めての語る場の提供（WORLD BAR）などを主におこなってきました。平成30年度は市内のまちづくり団体の活動を広く市民に知っていただき、更にまちづくりを促進する事業を展開します。

### 3 事業概要

#### ① 【継続】 ひだプラす運営事業 (424千円)

市内のまちづくり団体を繋ぎ、より一層、飛騨市のまちづくりを推進するため、慶応大学の小島特任教授にも引き続きアドバイスをいただきながら、ひだプラすの運営をおこなっていきます。

#### ② 【新規】 まちづくり塾の開催 (376千円)

全国のまちづくりの成功者の皆さんや市内でがんばっている団体の方を講師として招き、その経験談や苦労話を聞き、自らのまちづくりのヒントを見つけ、より多くのまちづくりが活発に行われるよう市内のまちづくり団体の方々を対象とした交流会を年6回開催します。

#### ③ 【新規】 まちづくりレシピの広報掲載 (ゼロ予算)

市内のまちづくり団体、イベント、個人を取材し、毎月の広報で紹介することで、広く市民に様々な団体の活動を知ってもらい、活動に参加するきっかけを作ります。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課		TEL0577-62-8904	予算書	P. 48～50

## 継続 小さなまちづくり応援事業

<b>1 事業費</b> (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
7,291	一般財源	7,291
		補助金 7,000
		印刷製本費 200
		その他 91
(前年度予算 10,320 )		

### 2 事業背景・目的

この事業は、市内を中心として活動を行う団体等を対象に、市民自らが行う「元気であんな誇りの持てるふるさと飛騨市」を目指す事業プランを公募し、応募のあった事業プランを市民参加型の審査会で審査し、市が助成金を交付する制度であり、どんな小さなまちづくりでも応募可能な仕組みとなっています。

多くの市民の皆さまに各団体のまちづくり活動に興味を持っていただき、その活動が飛騨市全体に波及することを目的としており、2カ年度目となる平成29年度は、2回の募集を行い、各地区の様々な団体より応募があり、約4,350千円を交付する見込みです。

### 3 事業概要

#### ○ 小さなまちづくり応援事業助成金

平成30年度実施予定の事業を平成30年1月に募集を開始し、一次審査の後、3月に二次審査となるコンペ審査会を「ひだプラス」の運営により開催します。

審査会は、どなたでもご観覧でき、来場者の皆さま全員に審査をしていただいて助成の可否を決定します。

実施された事業は、事業完了後に市民の方々へ向けた事業報告会を開催し、広く周知を図ります。



(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課 Tel.0577-62-8904			予算書	P. 48～50

## **拡充 飛驒みんなの博覧会の開催**

<b>1 事業費</b> (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
4,380	国庫支出金      2,190 一般財源          2,190	委託料              4,380
(前年度予算      6,043 )		

### 2 事業背景・目的

飛驒みんなの博覧会は、魅力ある地域資源の掘り起こしや市民の活躍機会の創出を通じて地域の活性化を図ることを目的として、平成29年2月にプレ開催、そして平成29年10月の第1回飛驒みんなの博覧会では30プログラムを超えるメニューを開催し、わずか30分で満席となったプログラムもありました。

一方で、プログラム化できるコンテンツはまだまだ市内に多くあるものの、実際にプログラムとして提供されているものはごく一部です。眠っている、気づいていない市民も観光客も楽しめる体験プログラムを集め広くPRし、飛驒市の魅力をみんなで楽しむことを通して、着地型観光を推進することを目的にしています。

### 3 事業概要

#### ① 【継続】 第2回飛驒みんなの博覧会（秋開催）(3,840千円)

平成29年度に開催した第1回飛驒みんなの博覧会では、募集開始当日わずか30分で満席となったプログラムも多くあり、市民、観光客が参加したくても参加できなかった人気プログラムも誕生しました。第2回開催では、より多くの方にプログラム提供者（パートナー）として参加いただき、飛驒市ならではのプログラムの造成を図ります。（50プログラムを想定）

#### ② 【新規】 第2回飛驒みんなの博覧会（冬開催）(540千円)

平成28年度のプレ開催では、冬にしかできない、飛驒市ならではの体験プログラムも多くあり、秋の開催とは違う楽しみ方があることが判明しました。このことから、通年体験できるものではなく、冬にしかできない体験を厳選し、主に市民に楽しんでもらえるような、冬季ならではの博覧会を開催します。（10プログラムを想定）

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課			予算書	P. 49
	Tel.0577-62-8904				

## [拡充] 地域おこし協力隊事業

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】	【主な使途】
21,188	一般財源	21,188
		報酬 11,952
		委託料 4,000
		その他 5,236
(前年度予算 24,215 )		

### 2 事業背景・目的

人口減少、少子高齢化が著しい飛騨市においては、都市部の人材を「地域おこし協力隊」として積極的に受け入れ、地域おこし活動を通じて、その定住定着を図る必要があります。また、地域振興協議会からも積極的な「地域おこし協力隊」の活用を求める声があることから、地域づくりの中核に従事させ、地元住民では気づかない魅力の発掘やその魅力を市内外へPRするとともに、地元住民と協働し地域力の維持・強化を図ります。  
※隊員一人あたり400万円を上限に特別交付税の算定対象となります。

### 3 事業概要

#### ① 【拡充】地域支援型地域おこし協力隊の配置 (9,976千円)

地域のまちおこし団体や企業等と連携し、地域内の様々な資源を小規模な体験交流型イベントを通じて誘客に結びつける仕組みづくりや、特色ある農産物のブランド化による定住モデルの実践に従事する隊員3名を配置します。

- ・継続配置地域：河合町（全域）
- ・拡充配置地域：神岡町（山之村地区）2名

#### ② 【継続】プロジェクト支援型地域おこし協力隊の配置 (11,212千円)

市がまちおこし団体や企業等と目的を共有しながら取り組むプロジェクトの推進に際し、プロジェクトへの市民参画や外部人材と地域住民とのつながりを構築するなどして事業推進の加速化に取り組む隊員2名を継続配置します。

- ・飛騨市まるごと体験博プロジェクト
- ・広葉樹のまちづくり推進プロジェクト
- ・飛騨市薬草ビレッジ構想推進プロジェクト

(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費	(目) 6 企画費	10 地域振興費
所 属	企画部地域振興課 Tel.0577-62-8904	予算書	P. 48～50・52～53

## **拡充** 魅力ある地元高校づくりの推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
1,937	一般財源	1,937	謝礼	364
			委託料	800
			その他	773

(前年度予算 2,100 )

### 2 事業背景・目的

吉城高校及び飛騨神岡高校は定員割れが続き、両校共に再編統合検討対象校の指定を受けました。これを受け、両校では地域と共に活性化策を検討するための協議会を立ち上げ、地域と連携した取り組みを行っています。

市としても、両校は地域の活性化につながる重要な高校として支援を継続していきます。平成30年度は両校の魅力発信に加え、行政や地域との関わりを強化した取り組みの展開を目指します。

### 3 事業概要

#### ① 【拡充】地域への出前講座・小学生とのふれあい事業・地域連携事業 (379千円)

飛騨神岡高校では、ロボット部や文芸部など特色を活かした出前講座を開催し、地域と連携した事業を推進します。

また、吉城高校では、地域をフィールドとした活動を展開するために「キャリア教育コーディネーター」を配置し、体制の強化を図ります。夏休みには、小学生を対象に「教えて高校生ティーチャー」を開催する予定です。

#### ② 【継続】高校魅力化応援・情報発信事業 (1,310千円)

タブロイド版PRチラシ(新聞折込)作成及びフリーペーパーを活用した両校のPRや広報ひだやSNS等活用した両校のPR(学校行事・部活等)を行います。

#### ③ 【継続】宇宙線研究機関とのふれあい事業(東京大学・東北大学との連携)(248千円)

宇宙線研究機関の大学院生等による両校生徒への様々な助言や交流機会の提供を行います。

(款)	2 企画費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課		TEL0577-62-8904	予算書	P. 48～50

## 継続 大人の社会科見学ツアーの開催

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
600	一般財源	600	委託料	600
(前年度予算 273 )				

### 2 事業背景・目的

市内には、日常では訪れることがない民間企業の製造工場や上下水道施設等の公共施設、高性能林業機械による森林伐採風景など、その現場でしか見聞できず、一般に公開されていないコンテンツが数多くあります。

これらのコンテンツを公開するため、関係する企業等の理解や協力を得るとともに、企業見学等を繋ぎ合わせて観光コンテンツとしての価値を高め、観光誘客を目的としたツアーへ活用することが求められています。

このため、市自らが企画に携わり施設間・地域間連携を深めた「飛騨市大人の社会科見学ツアー」を開催し、参加者は全国から広く募るなど市への誘客を獲得することで観光振興を図ります。

### 3 事業概要

平成29年度に実施したモニタリングツアーを踏まえ、魅力的なテーマ性を持たせて、観光パンフレット等には載らない優れた技術や技能を有する市内企業等を観光コンテンツとして繋ぎ合わせます。

また、ツアーの魅力を高めるため、食事には地元食材を使用した「ランチバイキング」などを活用し飛騨市の魅力をPRします。

なお、参加者は市内外を問わず、広く募集します。

#### 【平成29年度モニタリングツアー参加】

平成29年 8月19日 (土) 参加者：41名 (女性：31名、男性：10名)

平成29年11月15日 (水) 参加者：4名 (女性2名、男性：2名) (※)

平成29年11月18日 (土) 参加者：7名 (女性4名、男性：3名) (※)

(※) 飛騨市みんなの博覧会のメニューとして開催

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課	TEL	0577-62-8904	予算書	P. 49

## **継続** ふるさと子ども大使

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】	【主な使途】
388	一般財源	388
		使用料 298 その他 90

(前年度予算 243 )

### 2 事業背景・目的

飛騨市では、市内のこどもたちが、伝統・文化・自然等を学ぶ機会を設けて、地域に誇りと愛着をもつ子どもを「ふるさと子ども大使」として任命しています。

子ども大使には、市主催の行事に参加していただき、ふるさとへの愛着を深めていただくとともに、セレモニー等で大使の役割をこなして頂くなど活動の機会を広げます。

### 3 事業概要

#### ○ ふるさと子ども大使事業

市内の小学4年生から6年生を対象に、市内4町の魅力ある施設をめぐるバスツアー「ふるさと講座」を実施します。

子ども大使には、山中和紙で作成した特製の任命証を交付し、PR用として名刺を配布します。

学校を通じて参加者を募集し夏休みに開催することで、自由研究等に活用していただくとともに、名刺をたくさん配って飛騨市の伝統文化や自然、魅力をPRしてもらうこと、地域に愛着を餅持ち、ふるさと飛騨市の魅力を学ぶ機会として実施します。

#### 【参加・任命実績】

平成28年度 30名 (河合小4名、神岡小2名、古川西小8名、古川小16名)

平成29年度 38名 (河合小3名、神岡小8名、古川西小6名、古川小21名)

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課 Tel0577-62-8904			予算書	P. 49～50

## **継続** 地域間交流バスの運行

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,300	ふるさと創生基金 1,300 一般財源	自動車借上 1,300

(前年度予算 1,500 )

### 2 事業背景・目的

市内には、それぞれの地域で行われるイベントが数多くありますが、まだまだ一部の市民にしか知られていない、または参加したことがないものが存在し、市民からのイベント参加や交流を求める強い要望がありました。

市内各地の様々なイベントにおいて、市民同士が気軽に参加できるようにすることで地域間交流を活発化し、市内の各地の魅力を市民相互に共有するため、各町からイベント開催地にアクセスできるイベント交流バスを平成29年度から運行しています。

### 3 事業概要

#### ○ イベント交流バスの運行

イベント交流バスは主に夜間、休日に開催されるイベント時に運行することにより、イベントへの参加や、バザーなどで気軽に飲食を楽しむことができるようにします。

#### 【利用実績】

平成29年度 利用者225人 (11月末時点)

古川祭、神岡祭、古川・神岡・宮川花火大会、サマーフェスタ、きつね火まつり  
 太子踊り、藤橋会、農業まつり

(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費	(目) 10 地域振興費	
所 属	企画部地域振興課 Tel.0577-62-8904	予算書	P. 53

## 継続 ふるさと納税の推進

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
201,797	寄付金	198,000	積立金	123,311
	一般財源	3,797	報償費	57,100
			賃金	3,635
（前年度予算 315,963 ）			その他	17,751

### 2 事業背景・目的

飛騨市のふるさと納税寄付額は平成28年度約3億円、平成29年度も昨年を上回りました。平成29年度は、従来までのふるさと納税受付サイトである「ふるさとチョイス」「楽天」「ANA」に加えて12月に「さとふる」を新規導入し、納税募集サイトを拡大しました。

今後も市の魅力的な特産品を全国に発信しながら新しい商品の発掘とラインナップの充実に努めていきます。

### 3 事業概要

自治体間の競争が激化する中、これからも多くの方に飛騨市へ寄付をしてもらえるよう、サイトを訪問した人を寄付まで誘導できるような返礼品の紹介や写真等紹介を充実します。また、体験型や福祉サービス、季節限定商品の拡充や発掘を進めるなど特色ある返礼品化を進めます。更には返礼品発送時にはファンクラブチラシや季節の観光パンフレットを同封するなど、一過性で終わらないような取り組みも行ないます。

一方で、平成29年度より開始した「東京大学宇宙線研究所との連携推進事業」や「生きづらさや困難を抱える人たちへの支援に関する事業」といった目的を明確化したふるさと納税の募集についても導入をすすめ、市の施策推進を図ります。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	1 一般管理費
所 属	企画部地域振興課	TEL	0577-62-8904	予算書	P.43~46

## 新規 移住定住コンシェルジュの設置

<b>1 事業費</b> (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,816	一般財源	賃金
	1,816	1,816

(前年度予算 0 )

### 2 事業背景・目的

安心して移住を決断し、地域に溶け込みながら安定した生活を送るためには、移住希望者や既に移住された方のよき相談相手・アドバイザーとなる人、地域の生活習慣・文化を伝え地域住民との橋渡し役が必要です。

移住希望者が希望するライフスタイル等に関する相談に応じることで、飛騨市での移住生活をイメージし、移住に関するワンストップサービスを提供し移住政策の推進を図ります。

### 3 事業概要

移住希望者等に対する必要な情報収集や相談対応をおこなうことを主たる業務とします。

具体的には、住宅施策、就労施策及び教育施策等の補助制度の説明をおこなうことはもとより、住居や仕事、学校、医療機関、買い物先といった、移住後の生活に必要な不可欠となる場所を移住希望者とともに現地現物で確認するお手伝いをおこないます。特に就業に関しては、求人情報の提供もおこないながら、一緒に会社訪問をおこなうなど、移住検討者に寄り添い不安の解消を図ります。

更には、定住した後の地域での困りごと相談にも応じることで、定住促進を図ります。

#### 【移住実績】

平成29年度 42世帯、56人（うち県外25世帯、32人）相談件数 117件（※）

平成28年度 51世帯、77人（うち県外37世帯、47人）相談件数 75件

平成27年度 71世帯、126人（うち県外37世帯、53人）相談件数 173件

平成26年度 41世帯、54人（うち県外25世帯、25人）相談件数 105件

（※）平成29年度は平成30年1月末現在の数値です。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課	TEL	0577-62-8904	予算書	P. 48

## **新規** 空き家の家財道具処分費等への支援

<b>1 事業費</b> (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
500	一般財源	補助金

(前年度予算 0 )

### 2 事業背景・目的

市では空き家等の増加による地域への悪影響に対して総合的に対応するため、平成29年度に「空家等対策計画」を策定しています。

管理不全の空き家をなくすためには、予防活動が必要であり、使用可能な空き家は活用を進め、保安や衛生上等に影響があるものは解消していく必要があります。

空き家の利活用を進めるうえで支障となる「家財道具処分」「相続登記」について補助制度を新設することで、空き家所有者の負担軽減を図り空き家バンクへの登録を促します。

### 3 事業概要

#### ① 【新規】家財道具処分費補助事業 (300千円)

飛騨市空き家バンクに登録して入居者募集を行おうとする空き家の所有者に対し、当該空き家の家財道具等を処分するための費用の一部について補助することで、空き家バンクへの登録促進を図り、空き家の活用及び地域の活性化を図ります。

【補助率 対象経費の2分の1以内 (上限10万円)】

#### ② 【新規】相続登記促進補助事業 (200千円)

相続登記がなされず相続人や管理者等が不明となることから、危険な空き家等を発生させる一因となっていることから、相続登記により所有者を明確にすることで予防を促進し、将来の空き家対策をスムーズにします。

相続登記にかかる費用のうち、登録免許税 (=固定資産税評価額×0.4%) の10分の1を支援します。(上限2万円 (固定資産税評価額が5千万円で上限))

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課	Tel	0577-62-8904	予算書	P. 50

## 新規 移住PRドラマの制作

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】	【主な使途】				
5,400	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">県支出金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">2,700</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">2,700</td> </tr> </table>	県支出金	2,700	一般財源	2,700	委託料 5,400
県支出金	2,700					
一般財源	2,700					
(前年度予算 0 )						

### 2 事業背景・目的

人口減少社会において地域の活力を高めるためには、移住定住施策の推進により地域の将来を支える人材を呼び込むことが必要であり、全国において移住・定住のさまざまな取り組みがおこなわれています。

当市においても、移住者に米10俵を差し上げるなどの事業を展開しており、メディアにも多く取り上げられて、一定の成果をあげているところです。

しかしながら、更なる移住・定住の取り組みを深化させ、飛騨市への移住を促す必要があるため、平成30年度において、移住をPRするドラマを制作し、広く当市の魅力を発信することとしました。

### 3 事業概要

岐阜県が中心となり、県下の参加自治体を募りPRドラマを制作する予定です。

詳細については、現在も検討が進められていますが、衣食住のスポットの紹介や、地域の伝統や文化、風習なども取り入れ、移住を検討されている方々にPRできる内容とする予定です。特に当市においては、雪またじ等の実際の生活を紹介することに加え、当地に移住され生活されている先輩移住者の方々のご意見や体験談も参考にしながら制作をおこなう予定です。

ドラマを通じて市の魅力の発信をおこなうとともに、具体的な生活をイメージしてもらうことで、市への移住を推進します。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部地域振興課		Tn0577-62-8904	予算書	P. 49

## **拡充 女性の活躍推進事業**

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
227	一般財源	227	謝礼	88
			賄材料費	90
			その他	49
(前年度予算 28 )				

### 2 事業背景・目的

本市は女性の就業率が全国平均と比べ高いことが特徴ですが、働く女性の声から家事や育児の負担が大きく、男性の家事等への参加が課題となっていることがわかりました。また、市内企業では女性の管理職登用に苦慮されており、ロールモデルとなる活躍する女性の育成に加え、女性が働きやすい職場に向けた企業の意識改革も必要です。

このため、家庭における男性の家事・育児参加への啓発、職場における女性の意識改革や誰もが働きやすく魅力的な職場環境づくりにつながる取組みを応援します。

### 3 事業概要

#### ① 【新規】男性向けの料理教室の開催 (120千円)

男性が家事・育児に参加しやすい環境をつくるため、簡単で美味しい調理を楽しく学べる料理教室を開催します。

#### ② 【新規】女性の活躍推進研究会の立ち上げ (ゼロ予算)

女性の活躍推進のための意見交換会等を通して仲間を増やし、女性ネットワークの拡大や事業の企画に役立てます。

#### ③ 【継続】女性の活躍推進のための意見交換会の開催 (107千円)

県内外で活躍しロールモデルとなる女性を招き、企業経営者等や働く女性との意見・情報交換等の場を提供します。

#### ④ 【継続】「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進企業」認定制度の周知 (ゼロ予算)

誰もが働きやすく魅力的な職場の環境づくりを進めるため、県が行うワーク・ライフ・バランス推進のための認定制度について市内の企業へ周知を行うとともに、認定へ向けた支援を行います。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部総合政策課		TEL0577-73-6558	予算書	P. 48～50

## 新規「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット」の開催

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】	【主な使途】
500	一般財源	負担金
	500	500

(前年度予算 0 )

### 2 事業背景・目的

「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合」は、公務とは別に、一住民として役所を飛び出して様々な地域活動を行う公務員を応援するために、平成23年に設立されたもので、63名の首長が加入しています。平成24年から、年1回、参加首長が一堂に会して話し合い、交流する場として、「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット」が開催されており、参加首長だけでなく、地域活動を積極的に行っている各地の公務員も100名～200名が集い、それぞれの活動紹介や優秀な活動をしている人の表彰などが行われます。

このサミットを飛騨市で開催することにより、参加者にむけて飛騨市の取り組みを始め、飛騨市の見所、飛騨市の味を情報発信するとともに、市職員が、他自治体の職員の活動などを知ることによって、積極的に地域に飛び出し市民とともにまちづくりを進める意識向上を図ります。

### 3 事業概要

開催日 平成30年11月17日（土）～18日（日）

- 1日目（古川町公民館）
  - ・首長サミット（参加首長によるパネルディスカッションを行います）
  - ・地域に飛び出す公務員アワード2018（特に優秀な活動を表彰します）
  - ・交流会
- 2日目（飛騨市内）
  - ・エクスカージョン（古川町・神岡町の2班に分かれ視察研修を行います）

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	1 一般管理費
所 属	企画部秘書広報課		TEL0577-73-7468	予算書	P. 46

## 新規 飛驒市合併 15 周年記念事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
500	一般財源	500
		謝礼 300
		施設使用料 80
		その他 120
(前年度予算 0 )		

### 2 事業背景・目的

飛驒市は、平成16年2月に古川町、河合村、宮川村、神岡町の2町2村が合併し誕生しました。平成30年度は合併してから15周年となる記念の年です。

このため、市ではこの15年で築いてきた「文化が薫る活力とやすらぎのまち飛驒市」への軌跡を振り返るとともに、これまで以上に各地域の文化の追求と融合を図ることを目的に、未来への希望へとつないでいくための記念事業を開催いたします。

### 3 事業概要

合併15周年記念事業は、15年間に培った本市まちづくりを振り返りながら、本市の有形無形の伝統文化や暮らしに誇りのもてる未来志向的な記念行事としたいと考えています。市民に楽しんでいただける記念講演会などを企画してまいります。



(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部総合政策課 TEL0577-73-6558			予算書	P. 48～50

## 新規 「(仮) 飛騨市総合政策指針」策定に向けた調査

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
640	一般財源	640	賃金	256
			謝礼	274
			旅費	110
(前年度予算 0 )				

### 2 事業背景・目的

「飛騨市第二次総合計画」は、将来像を「市民がいつまでも安心して暮らせるまち」として、平成22年度からの平成31年度における行政運営の基本となる計画を体系的に明らかにしたものです。平成30年度は同計画最終年度の前年にあたるため、その後継となる「(仮)飛騨市総合政策指針」策定の準備に取り掛かる必要があります。

このため、市若手職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、市民や各種団体等へのインタビュー、地域経済分析や各種統計を活用した研究、世論調査などを行い指針策定に向けた調査検討を行います。

### 3 事業概要

#### ① プロジェクトチームによる指針策定のための調査検討 (240千円)

若手職員を対象としたプロジェクトチームを設置し、市民の皆様や各団体、有識者のご意見を直接聞き取りする中で、これまで対処できていない市の課題等を抽出し、政策立案等について検討を行います。

#### ② 地域経済分析 (RESAS：リーサス) 等の活用 (ゼロ予算)

地域経済分析システム (RESAS：リーサス) を活用し、市の様々な分野におけるデータ解析をワークショップ形式で行い、この結果を新たに策定する指針の基礎資料とします。

#### ③ 飛騨市世論調査の実施 (400千円)

直接の聞き取りや統計データでは確認できない現状等を把握するため、無作為抽出した世帯を対象に、様々な分野の世論調査を行います。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部総合政策課		TEL0577-73-6558	予算書	P. 48～50

## **継続** 飛騨市総合政策審議会の運営

<b>1 事業費</b> (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
246	一般財源	246
		報酬 135
		謝礼 72
		費用弁償 39
(前年度予算 250 )		

### 2 事業背景・目的

市では、政策の総合的かつ計画的な推進に関する重要事項について、市民や各界有識者からのご意見を頂戴し市政に反映させることを目的に、平成29年度に地方自治法第138条の4第3項の規定に基づく機関として、「飛騨市総合政策審議会」を設置しました。

平成30年度も同審議会を継続して開催し、委員の皆様からいただいたご意見を参考にしながら実効性のある政策立案に努めます。

### 3 事業概要

#### ○ 飛騨市総合政策審議会の開催

平成30年度も年3回程度開催し、市の基本的な政策等が市民にニーズに合致しているかなどについてご意見を伺います。

#### 飛騨市総合政策審議会構成員選出分野

- 区長の代表者 1名、医療関係団体の代表者 1名
- 介護関係団体の代表者 1名、保育園保護者団体の代表者 1名
- 外部の有識者 1名、商工団体の代表者 1名
- 農業団体の代表者 1名、観光団体の代表者 1名
- 林業団体の代表者 1名、防災関係の有識者 1名
- 教育関係の代表者 1名、PTA関係の代表者 1名
- 金融団体の代表者 1名、労働団体の代表者 1名
- まちづくり団体の代表者 1名



(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	企画部総合政策課 TEL0577-73-6558			予算書	P.48～49